

公明党提案の3事業が市新年度予算案に!

高齢者／障がい者／難病患者などの生命を守る!

1 緊急時安心キットを配布!

〈救急時に必要な医療情報を専用ボトルで冷蔵庫に保管〉

平成23年10月から 5万世帯へ配布予定!



©NEW KOMEITO

■高齢者だけの世帯が増えています。救急車を呼ぶような、もしもの時、急病者の状況を正確に伝える人がいなかったら……

■急病者の医療情報が的確に救急隊員に伝わるように、公明党は、専用ボトルに必要な情報を入れて、どのご家庭にもあって、家の中で一番わかりやすい冷蔵庫に保管する「緊急時安心キット」の配布を提案。

■冷蔵庫に保管するための専用ボトル、医療情報を記入する用紙、ボトルの所在を示すシールなどの一式(キット)を、高齢者世帯などに配布する予算が新年度予算案に盛り込まれました。

配布対象 (予定)

- 一人暮らしの65歳以上の
高齢者世帯には全戸配布
- 65歳以上の高齢者がいる世帯、
障がいのある方がいる世帯、
難病や持病のある方がいる世帯
では、希望世帯に配布

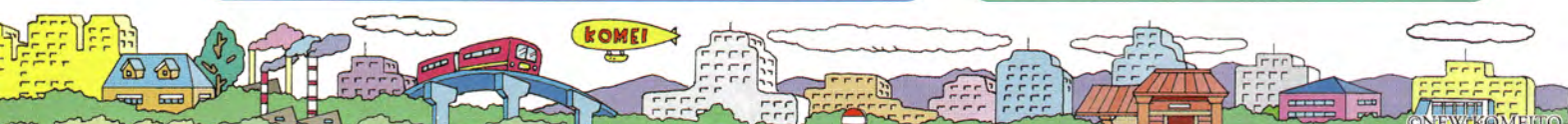
配布キット (一式)の 内容

- 専用ボトル1本
- 説明書
- 緊急情報シート(医療情報記入用紙)
- シール2枚(玄関内側、冷蔵庫)



専用ボトルに入れるもの

- 本人の写真(裏に名前記入)
- 健康保険証(写)
- 主治医の診察券(写)
- お薬情報(写)
- 医療情報用紙



©NEW KOMEITO

2

支えあう社会を創る!

介護ボランティア・ポイント制度

●平成23年10月から開始予定!

- 介護ボランティア・ポイント制度は、高齢者(65歳以上)の方が、介護ボランティア活動を行ったとき、ポイントで評価し、ポイントに応じて市から助成金を交付する制度です。
- ポイントは、市が指定する団体への寄付が可能です。
- さいたま市では、介護ボランティア・ポイント制度を第一弾として、将来は、全市民を対象としたボランティアの拡大をめざしています。



©NEW KOMEITO

対象となるボランティア活動

- 介護施設でのイベント、食堂での配膳、散歩・外出・館内移動補助、話し相手など。
- 高齢者世帯などへの宅配食事サービスの配食ボランティア。

ポイント制度の概要

- 区の高齢介護課でボランティア手帳を交付。
- 1時間のボランティアで手帳に1ポイントのスタンプ〈1日2ポイント上限〉。
- 年間5,000円を上限に、1ポイント=100円の交付金。

女性と乳幼児の命を守る!

3

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ/肺炎球菌ワクチンの公費接種



©NEW KOMEITO

- 平成23年3月1日から開始予定!
- 所得制限、本人負担なし。
- 〔医師会所属〕市内医療機関で実施。

子宮頸がん
予防ワクチン

- 対象年齢/ 中学1年生～高校1年生 (平成23年度は高校2年生も対象)
- 接種回数/ 1回目接種後 1か月、6か月の計3回

細菌性髄膜炎
予防ワクチン対象年齢
と
接種回数

ヒブ(インフルエンザ菌b型) 予防ワクチン

- ①生後2か月～7か月で接種開始の場合
〔4週間～8週間の間隔で3回、
1年後に1回追加接種の計4回〕
- ②生後7か月～12か月で接種開始の場合
〔4週間～8週間の間隔で2回、
1年後に1回追加接種の計3回〕
- ③1歳～4歳で接種の場合〔1回〕

肺炎球菌予防ワクチン

- ①生後2か月～7か月で接種開始の場合
〔27日以上の間隔で3回、
60日以上後に1回追加接種の計4回〕
- ②生後7か月～12か月で接種開始の場合
〔27日以上の間隔で2回、
60日以上後に1回追加接種の計3回〕
- ③2歳～4歳で接種の場合〔1回〕



©NEW KOMEITO